

メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル ～トライアル・ガイドライン～

(社外向けに一部改編・抜粋)

2020年7月1日時点、適用期間：2020年9月30日まで（随時変更や延長する可能性があります）

株式会社メルカリと株式会社メルペイは、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた時代の変化にいち早く対応し、生産性を最大化し、成長につなげるための新しいワークスタイル「メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル」の確立を目指し、2020年7月1日よりトライアルを開始いたします。トライアル期間中は、画一的な形式での働き方は設定せず、個人・チームの裁量に合わせてリモート/出社の有無、および出社時間・頻度など自由に選択可能にするなど、組織の多様性に合わせた新たな働き方の検証を行うことにより、新たなワークスタイルの確立を目指します。

トライアル期間中は、下記の「メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル～トライアル・ガイドライン～」に準拠しつつ、組織文化への影響、個人評価（スキル向上も含む）、チーム成果などを慎重に検証しながら新たなワークスタイルの確立を目指します。

● 基本方針

- 第一に、国およびオフィス所在地の自治体など行政からの指示・要請に従います。
- 第二に、Be a Proのバリューに則り、ルールは最小限のものとし、感染防止のために下記のルールを設定します。

● オフィス勤務時のルール

○ 出社について

- 基礎疾患がある方や妊娠されている方、同居する家族に同様の方や高齢者がいる方などは、在宅勤務のみとすることができます。
- 新型コロナウイルスの特性に未知な部分があることから、以下の対象者は出社禁止とします。
 - 新型コロナウイルス感染者のうち陰性が確認されてから、4週間を経過しない方
 - 新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者となってから、4週間を経過しない方
 - 出社時オフィス入口前で非接触式体温計で体温測定を行い、規定の体温以上があった方
- また上記に当たらずとも体調不良や風邪気味などの症状がある方も在宅勤務やSick Leave※を利用すること

※Sick Leave（シックリーブ）：メンバー本人の病気・ケガを事由とした休暇を年10日間、有給休暇とは別に付与します。

○ オフィス内

- 入室時は毎回、アルコール消毒または手洗いを実施すること
- 常時マスク着用すること
- 飲食は、自席以外のオープンスペースで行うこと（自席ではドリンクのみ飲用可）。利用後は、各自アルコール等で除菌を実施すること
- 会議室では、隣席の間隔を1席以上空けること（最大利用は通常時の定員の半数。使用禁止の表示のある部分については着席しない）

● その他のルール

- 社内クラスター発生による事業継続への影響をさけるため、社内メンバーが10人以上の対面での飲食を伴う活動（チームビルディング、会食等）は禁止

FAQ（抜粋）

<オフィス関連>

Q1: どのような場合にオフィスに出社しなくてはいけないのですか？

A：上長が業務上必要と判断した場合は出社の必要がありますが、基礎疾患がある方などはその限りではありません。また、以下の業務についてはオフィス出社を推奨します。

- ブレインストーミング
 - オンラインでのファシリテーション難しさを解消するため
- オンボーディング
 - 新入社員にとってはメルカリを理解する重要きっかけであり、心理的安全性や形式化されていないナレッジを共有するため
- チームの関係性強化のためのミーティング（チームビルディング）
 - チーム内の心理的距離を縮め、信頼関係の強化や心理的安全性を高めるため
- 集中的に共同作業を行う活動
 - キックオフ、リリース直前やイベント直前など、メンバーで集中的に共同作業を行う際に、コミュニケーションの効率性をあげるため
- トレーニング
 - できる限り明文化し暗黙知をなくしていきたいものの、OJTの方が効率的なことはありえるため
- 生産性を上げたり、関係性を強化するために定期的な出社時間を設定する
 - ある曜日のこの時間帯を出社する、などと決めることで、気軽に進捗確認や質問、共同作業をできるようにすることで生産性を上げたり、個人的な関係性を強化できるようにするため

Q2：オフィスの見直しについて

A：オフィスについては、コラボレーションスペースや目的別スペース、フリーアドレスなど様々な働き方を試すための改修を予定しています。

<通勤関連>

Q1：通勤時の推奨事項

A：以下を推奨します。

- ・ マスク着用
- ・ 時差通勤（7:00～10:00／17:30～20:00の時間帯の公共交通機関の利用を避けての出退勤）
- ・ 混雑を回避したルート選択によるリスク低減

<出張・来客関連>

Q1：出張について

A：国および行政からの指示や要請に従って、業務上の必要性を踏まえた判断を行なってください。

Q2：来客について

A：国および行政からの指示や要請に従って、業務上の必要性をふまえた判断を行なってください。

<その他>

Q1：プライベートでの禁止事項などはありますか

A：ありませんが、国およびオフィス所在地の自治体など行政からの指示・要請には従うことを推奨します。